

平成20年度後志支庁管内観光入込客数の概要

1 調査基本事項

(1) 調査内容

後志管内全20市町村の調査結果を基に市町村毎の延べ人数で集計。

(2) 調査対象期間

平成20年4月1日～平成21年3月31日

(3) 調査項目

- ①入込客総数 ②道外客・道内客（総数内訳） ③日帰り客・宿泊客（総数内訳）
④宿泊客延数

2 調査結果概要

入込客総数は対前年比96.6%、約73万人減少の約2,070万人であり、上期は約1,269万人で、対前年比96.4%、約48万人の減少、下期は約801万人で、対前年比97.0%、約25万人の減少となった。

上期は、原油価格の高騰や、北海道洞爺湖サミット開催に伴う、警備体制強化による出控えなどが減少要因であると推測される。

一方で、施設の新設や新規イベントの開催などにより、前年度を上回る地域があった。

下期においては、原油価格の下落安定や、スキーアカデミーの開催による日帰りスキー客の大幅増により観光入込客数が増加した地域もあるが、景気の後退や円高、施設の休業・休止の影響などにより、管内全体では前年同期を下回る結果となった。

(1) 主な増減理由

- (増) 道の駅の新設や新規イベントの開催による観光入込客の増加（上期）
(増) 原油価格の下落安定による観光入込客の回復（下期）
(増) 子供を対象にしたスキーアカデミーの開催による日帰りスキー客の増（下期）
(減) ガソリン価格の高騰や、北海道洞爺湖サミット開催に伴う警備体制強化による出控えによる観光入込客の減（上期）
(減) 景気後退や円高の影響による観光入込客の減（下期）

(2) 調査項目別入込客数、増減率(前年比)、入込総数に対する構成比

(単位:千人、%)

	入込客総数	総数内訳		総数内訳		宿泊客延数
		道外客	道内客	日帰り客	宿泊客	
H20年度	20,704.4	5,060.7	15,643.7	18,168.1	2,536.3	3,010.4
H19年度	21,430.6	5,380.5	16,050.1	18,909.5	2,521.1	3,079.8
増減率	-3.4	-5.9	-2.5	-3.9	0.6	-2.3
構成比 ^㊹	100.0	24.4	75.6	87.7	12.3	
構成比 ^㊺	100.0	25.1	74.9	88.2	11.8	

(3) 市町村別（入込客数、増加数、増加率ランキング）

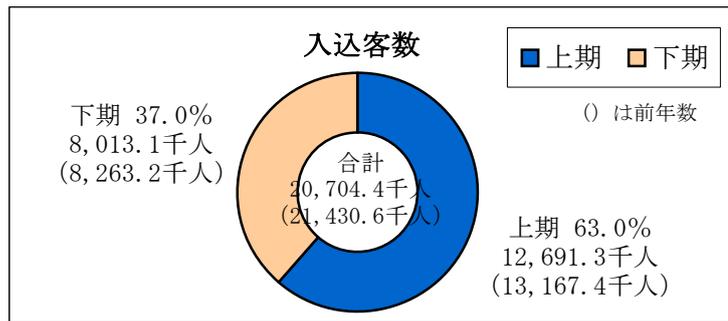
○入込客数

【年間】

1位	小樽市	7,144.5千人
2位	喜茂別町	3,002.1千人
3位	倶知安町	1,512.8千人
4位	ニセコ町	1,452.5千人
5位	留寿都村	1,334.7千人

【上期】

1位	小樽市	3,990.2千人
2位	喜茂別町	2,307.7千人
3位	積丹町	830.7千人
4位	倶知安町	777.3千人
5位	ニセコ町	746.9千人



【下期】

1位	小樽市	3,154.3千人
2位	倶知安町	735.5千人
3位	ニセコ町	705.6千人
4位	喜茂別町	697.4千人
5位	留寿都村	683.0千人

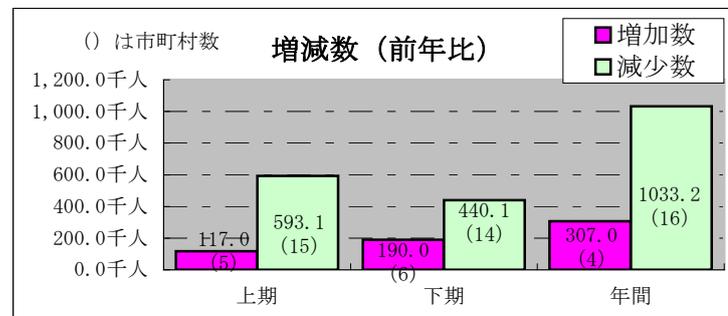
○総数増加数

【年間】

1位	赤井川村	210.2千人
2位	寿都町	29.1千人
3位	神恵内村	11.6千人
4位	黒松内町	1.3千人

【上期】

1位	赤井川村	40.7千人
2位	喜茂別町	38.7千人
3位	寿都町	21.6千人
4位	神恵内村	12.7千人
5位	留寿都村	3.3千人



【下期】

1位	赤井川村	169.5千人
2位	寿都町	7.5千人
3位	共和町	6.1千人
4位	真狩村	3.9千人
5位	黒松内町	1.5千人
5位	古平町	1.5千人

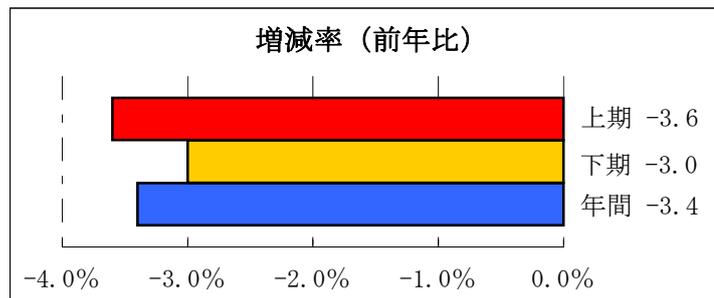
○総数増加率

【年間】

1位	赤井川村	54.0%
2位	寿都町	19.6%
3位	神恵内村	7.0%
4位	黒松内町	0.9%

【上期】

1位	赤井川村	22.6%
2位	寿都町	17.4%
3位	神恵内村	12.3%
4位	喜茂別町	1.7%
5位	留寿都村	0.5%



【下期】

1位	赤井川村	80.9%
2位	寿都町	31.3%
3位	共和町	7.8%
4位	古平町	7.7%
5位	黒松内町	3.4%